

第323回 昭和の森観察会

鳥が運ぶ種

八木千里（千葉市）

日 時：2018年11月11日（火）13時～15時 天候晴れ

参加者：20名（大人15名 子ども5名）

担当指導員：坂本文雄、八木千里、全指導員11名

種シリーズは今年で3回目です。ひつつきむし、風が運ぶ種に続いて鳥が運ぶ種です。鳥が木の実（種）を食べて遠くまで飛んで糞と一緒に種を落として散布すること。昭和の森には実をつけた木が沢山ありそれをどんな鳥が食べるのか、実の色はなに色が多いかななど、鳥と木の実の関係を探した。風もなく素晴らしい秋晴れの中、資料をバインダーに挟んで出発です。ツツジの植え込みの中から違う木が伸びている。なんでだろうか？風で飛んだにしては遠すぎるので鳥のせいかなと推理する。ケヤキ・シデを1番に観察すると種に翼があり、飛ばすとクルクルと回って風に乗って飛んでいく仕掛けがある。これを基準にして鳥散布か 風散布か 判断することにした。

全員がバインダーに資料を挟んで使ったことで、きちんと書き込めた。木の種類、実の色、鳥散布、風散布、実を食べる鳥の種類を書き込めて24行を埋める事ができた。（下記の表を参照）ハナミズキを見て「飛ぶ工夫がないから鳥散布だね、どんな鳥が食べるんだろう」とか「赤い色が綺麗で意外と大きい」など楽しそうに観察した。鳥はほとんどいなかつたので用意した写真を見せた。木の葉を触ったり、実の硬さや大きさ、実を潰してなめたり五感をつかって木と親しめた。身近な鳥も写真を見せて説明したのが好評だった。

観察した木の種類（1～24まで）

ケヤキ、モミジイチゴ、ハクウンボク、イヌシデ、ハナミズキ、モミジ、ムク、コブシ、イヌツゲ、マツ、キヅタ、ムラサキシキブ、ヒメコウゾ、クサギ、アオキ、ヌルデ、キブシ、センダン、スギ、ヤマザクラ、ヤマコウバシ、ガマズミ、サルトリイバラ

	木の種類	実の色	鳥 散布	風 散布	その他	実を食べる鳥の種類
1	イヌシデ	茶		○		
2	イヌツゲ	紫	○			鳩・ヒヨドリ・ツグミ

24行埋めた結果 1・鳥散布対風散布は17対7で意外と鳥散布が多い。

2・赤い実が目立つが紫や黒い実も多かった。

3・ヒヨドリはほとんどの実を食べる。

4・小さい種は鳥が食べても消化してしまうので散布にはならない。

観察会の後半では参加者から色々な質問もでて充実した観察会で幕を閉じた。

参加者の感想：種を通して鳥を見たのは興味がわいた。

一覧表にしたのが木の名前がわかりやすかった。

木の実に興味をもてた。